

令和元年10月7日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号: 8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

2019年9月次 月次概況 (速報) のお知らせ

2019年9月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	2019年3月期											
	2018年									2019年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	536	519	478	439	670	606	476	435	547	460	360	698
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	91,552	116,599	101,591	92,238	107,310	84,706	118,371	96,598	91,536	133,017	75,614	77,410
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	315,872	317,341	318,698	319,983	321,275	322,271	323,931	325,232	326,421	327,859	329,061	330,230
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	62,379	61,817	63,050	63,736	62,506	62,707	62,428	62,361	63,000	62,097	61,685	62,557
一般顧客	57,653	57,015	57,840	58,372	57,290	57,094	57,455	57,530	57,897	57,128	56,678	57,205
金融法人 (B to B)	4,725	4,802	5,209	5,363	5,216	5,613	4,973	4,831	5,103	4,968	5,006	5,351
マネパカード口座数 (単位: 口座)	124,965	129,820	134,553	137,762	139,807	141,535	143,219	144,889	146,856	148,845	150,323	151,621

年 月	2020年3月期											
	2019年									2020年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	436	430	438	446	552	397						
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	64,962	85,708	73,679	70,709	121,698	72,241						
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	331,528	332,653	333,795	334,878	335,861	336,996						
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	64,226	63,060	64,426	64,422	63,282	63,293						
一般顧客	57,695	58,098	58,594	58,474	59,231	58,929						
金融法人 (B to B)	6,531	4,961	5,831	5,948	4,050	4,363						
マネパカード口座数 (単位: 口座)	152,808	153,899	155,079	156,330	157,321	158,101						

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 2011年8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとB to B取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

< 9月次の概況 >

9月の外国為替相場は、米ドル／円については、1ドル＝106円丁度の水準で取引が始まり、3日には月の安値となる105円台後半をつけた後、米中通商問題の合意に向けての期待や米国経済への楽観的な見通し等を背景に緩やかに値を上げ、18日には月の高値となる108円台半ばをつけました。その後、米中通商問題を巡る米中首脳が発言が交錯する中概ね107円から108円にかけてのレンジで推移し、108円丁度の水準で月末迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、対円では、前半は円安傾向、後半は円高傾向で推移し、外国為替相場の変動率は、米ドル／円の値動きが特に低下したことから全体としても前月と比べ大きく低下しました。

このような状況の中、外国為替取引高は、米ドル／円やその他新興国通貨を中心に減少し、前月比41%減少の722億通貨単位となりました。一方、営業収益は、前月と比べ相対的に収益性の低い米ドル／円の割合が低下したこと等から全体の収益性が回復し前月比28%減少の397百万円となりました。また、顧客基盤については、外国為替取引口座数は前月比1,135口座増加の336,996口座、マネパカード口座数は前月比780口座増加の158,101口座となった一方、外国為替取引預り証拠金は、円安方向の相場推移から顧客含み損益が改善したことによる建玉調整等の動き等から一般顧客分が減少し、全体としては前月比ほぼ横這いの63,293百万円となりました。

以 上